

## 神流川上流域災害史カレンダーについて

自然豊かな日本では、自然の恵みを享受できる反面、自然の脅威から逃れることはできず、また、災害の発生を防ぎきることもできません。

このため、地域コミュニティが協力して、発災直後に生じた被害に素早く対応して被害を拡大しないようにしたり、被災者に適切な支援をしたり、被害から回復すること等が重要といわれています。

しかし、日本列島は広く、地域ごとに備えるべき災害が異なります。地域に合った災害に備えるためには、まず、それぞれの地域で過去に発生した災害を知ることが大切だと考えました。

この「神流川上流域災害史カレンダー」は、神流川上流域でこれまでに発生した災害を市町村誌等から収集し、カレンダー形式にとりまとめたものです。これにより、この地域において季節毎に発生しやすい災害を明らかにすることができました。このカレンダーを活用していただき、災害の記憶の風化を防ぐとともに、特徴のある災害に備え、地域防災力（自助・共助）を高めるための一助となれば幸いです。

末尾になりますが、ご協力いただきました関係機関の皆様に厚く御礼を申し上げます。

神流川ビジョン推進協議会  
神流川上流域防災関係機関会議

### この地域の主な災害

- ・台風等による水害や土砂災害
- ・風が強く空気が乾燥する冬季の大火災
- ・大雪による集落孤立
- ・浅間山噴火による降灰

### ご協力いただいた関係機関

藤岡市、神流町、上野村、秩父市、神川町、多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部、秩父消防本部、児玉郡市広域消防本部、藤岡警察署、児玉警察署、小鹿野警察署、藤岡土木事務所、本庄県土整備事務所、高崎河川国道事務所、利根川ダム統合管理事務所、利根川水系砂防事務所

### とりまとめに用いた資料

鬼石町誌、万場町誌、中里村の歴史、上野村の歴史、多野藤岡地方誌、吉田町誌、神泉村誌、群馬県地域防災計画、藤岡市地域防災計画、神流町地域防災計画、秩父市地域防災計画、神川町地域防災計画、高崎河川国道事務所ホームページ  
桜山公園 100年の歩み、万場町 20世紀のあゆみ、百春秋（写真でつづる中里村のあゆみ）

# 神流川上流域災害史カレンダー

冬季は風が強くと乾燥し『大規模火災』が起きやすくなります。

夏から秋にかけては『風水害・土砂災害』に注意しましょう。

『自助・共助・公助』で地域防災力を高めましょう。



- 1 4日【平成5年 神ヶ原の山林火災】
- 8日【昭和32年 平原の山林火災】
- 15日【昭和62年 魚尾の山林火災】
- 16日【昭和60年 大久江の山林火災】
- 18日【平成28年 豪雪】集落孤立
- 22日【明治45年 塩沢村の大火】



- 46世帯全焼
- 23日【昭和38年 平滑の大火】18棟全焼
- 27日【昭和56年 魚尾の山林火災】
- 31日【昭和31年 柏木の大火】77戸被災、【平成9年 魚尾の山林火災】

- 2 3日【昭和35年 勝山の火災】3戸焼失
- 4日【昭和41年 神ヶ原の山林火災】
- 6日【昭和61年 平原（西部）の山林火災】
- 11日【昭和56年 山林火災】上吉田から出火し太田部まで延焼
- 12日【明治45年 平原の火災】11戸焼失
- 14日【平成26年 豪雪】集落孤立、大規模停電、交通網麻痺、最深積雪記録
- 15日【昭和62年 神ヶ原の山林火災】
- 18日【昭和40年 魚尾の山林火災】
- 20日【大正5年 鬼石の大火】183戸焼失
- 21日【昭和50年 豪雪】志賀坂峠通行止
- 23日【昭和47年 豪雪】
- 26日【大正13年 宮地の火災】8戸焼失
- 28日【明治40年 阿久原の大火】79戸焼失



- 3 1日【昭和7年 延命寺の大火】
- 3日【昭和38年 神ヶ原の山林火災】
- 7日【大正11年 勝山の火災】歌舞伎舞台焼失
- 11日【昭和63年 平原の山林火災】
- 12日【昭和44年 豪雪】上信バス運行中止
- 24日【昭和48年 三波川の山林大火】冬桜多数焼失
- 25日【平成2年 神ヶ原の山林火災】
- 26日【昭和21年 伝田郷の大火】22戸全焼
- 27日【昭和42年 平原（西部）の山林火災】、【昭和54年 魚尾の山林火災】



- 4 8日【昭和62年 神ヶ原の山林火災】
- 9日【明治25年 万場の大火災】234戸全焼、死者10名
- 14日【昭和34年 浅間山噴火】降灰
- 16日【明治35年 塩沢村の大火】
- 20日【昭和10年 浅間山噴火】降灰
- 27日【平成5年 森戸の森林火災】26時間延焼し90ha焼失

- 5 5日【昭和10年 浅間山噴火】降灰、【昭和57年 神ヶ原の山林火災】
- 18日【昭和42年 魚尾の山林火災】
- 22日【昭和10年 浅間山噴火】降灰
- 28日【昭和10年 浅間山噴火】降灰

- 6 2日【昭和17年 橋倉の火事】橋倉分校など15戸全焼
- 27日【昭和41年 台風4号】水害

- 7 1日【平成3年 火災】太田部で住宅3棟、物置4棟全焼
- 8日【昭和46年 長雨】土坂トンネル付近で山崩れ
- 19日【大正5年 乙母の火災】6戸焼失
- 22日【昭和16年 前線及び台風】万場降水量200mm超
- 31日【昭和3年 台風】万場一藤岡線で16箇所損壊、交通途絶

- 8 1日【昭和57年 台風10号】中里村で3億円の被害、太田部で土砂崩れ
- 5日【天明3年 天明の浅間焼】作物全滅
- 10日【明治43年の大水害】万場総雨量483mm、多野郡で死者63名、上武橋流失

- 12日【昭和34年 台風7号】神流川増水、各所で被害
- 13日【大正3年 台風】上野降水量381mm、上武橋流失
- 14日【明治40年の水害】塩沢地区・船子地区住宅流失4棟等被害甚大
- 15日【平成11年 熱帯低気圧】万場総合グラウンド損壊、上野村所ノ沢で家屋損壊3戸



- 下久保ダム流入量1,508m³/s（管理開始後最大）
- 16日【昭和58年 台風5号、6号】中里村で被害
- 太田部峠で土砂崩れ
- 22日【昭和56年 台風15号】平原で土砂崩れ2棟全壊
- 24日【大正11年 暴風雨】作物被害多し、神流川増水
- 25日【明治40年 野栗の山津波】18世帯43棟埋没、犠牲者41名
- 26日【大正2年 前線及び台風】上武橋欠損、不動橋流失、
- 【大正14年 水害】神流川七尺増水、山崩れ、交通途絶
- 27日【寛保2年 寛保の嵐】山崩れ、田畑埋没、橋梁流失、被害甚大
- 29日【大正3年 水害】万場降水量317mm、新町堤防決壊
- 30日【昭和24年 キティ台風】万場、中里、上野は山崩れと橋梁流失で孤立
- 31日【昭和13年の水害】交通途絶で奥多野孤立、神流町3名、上野村8名死亡



- 9 1日【昭和49年 台風16号】多野山地に400mmを越す大雨、伝田郷県道崩壊、交通通信途絶
- 2日【寛政3年 寛政の嵐】川欠け、山崩れで年貢免除
- 【昭和61年 台風15号】万場で道路損壊
- 5日【文政7年 東日本暴風雨】山崩れ、道路・橋梁損壊
- 6日【平成19年 台風9号】万場総雨量504mm、道路決壊、持倉集落3日間孤立、太田部で集落孤立
- 7日【明治31年 水害】神泉で家屋2戸、田畑浸水
- 8日【元禄12年 台風】讓原村で洪水により秋作は全滅
- 10日【平成13年 台風15号】太田部の県道で土砂流出
- 12日【昭和57年 台風18号】中里村で被害
- 14日【大正9年 中里村役場の火災】水沢にあった中里村役場外1戸が焼失
- 15日【昭和22年 カスリーン台風】万場降水量397mm、道路、橋梁流失、交通途絶

- 16日【平成10年 台風5号】家屋1棟半壊
- 17日【昭和40年 台風24号】強風でコンニャクなど農作物に被害
- 18日【明治17年 神流川洪水】神流川の流路が変わり牛田地先で水騒動
- 19日【元禄14年 東海・東日本風水害】矢納村で水害、元禄大飢饉
- 21日【昭和6年 西埼玉地震】藤岡で被害甚大
- 23日【昭和25年 浅間山噴火】降灰
- 24日【昭和10年 烏川水害・神流川水害】家屋流失、土砂崩壊で交通途絶、大寄で死者1名
- 25日【昭和41年 台風26号】家屋損壊3戸
- 26日【昭和34年 伊勢湾台風】植林地で風倒木多数
- 27日【昭和33年 狩野川台風】神流川上流域降水量200mm超

- 10 2日【享保13年 江戸大洪水】讓原村で度々満水、秋作被害で食無し
- 10日【明治43年 水害】神流川増水で交通途絶
- 16日【平成3年 地すべり】讓原で亀裂発生
- 7日【昭和10年 浅間山噴火】降灰
- 10日【昭和33年 浅間山噴火】降灰
- 【昭和34年 製材所の火災】魚尾の製材所が全焼
- 30日【昭和28年 乙父の火災】3戸全焼
- 23日【昭和47年 豪雪】奥多野で豪雪
- 30日【明治17年 尾附の火事】16戸が焼失



企画：神流川ビジョン推進協議会、神流川上流域防災関係機関会議  
 協力：藤岡市、神流町、上野村、秩父市、神川町、多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部、秩父消防本部、児玉郡市広域消防本部、藤岡警察署、児玉警察署、小鹿野警察署、藤岡土木事務所、本庄県土整備事務所、高崎河川国道事務所、利根川ダム統合管理事務所、利根川水系砂防事務所  
 発行：独立行政法人水資源機構下久保ダム管理所